

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

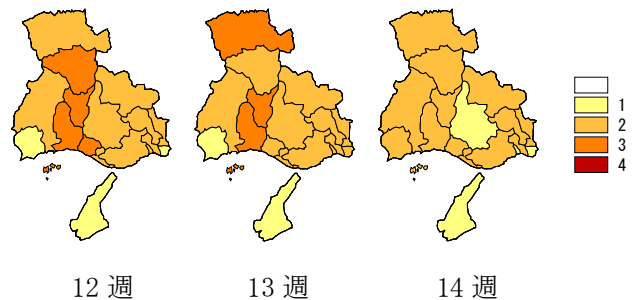
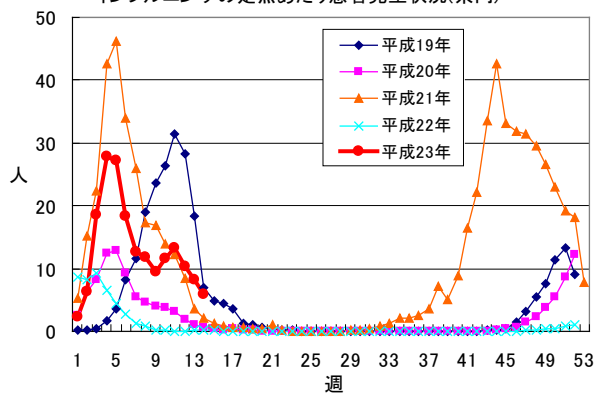
インフルエンザ

定点あたり患者数は今週 **5.85人**(先週の8.18人)と3週続けて減少しました。定点あたり10人以上の保健所管内は姫路市のみとなりました。

全国的には、北海道、東京都、愛知県、大阪府、福岡県などの21都道府県に警報レベルの保健所管内が、これ以外の8県に注意報レベルの保健所管内があります。

インフルエンザの予防として、手洗い、うがい、咳エチケットの励行、マスクの着用など、インフルエンザに罹らない、広げない対策が重要です。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。

インフルエンザの定点あたり患者発生状況(県内)

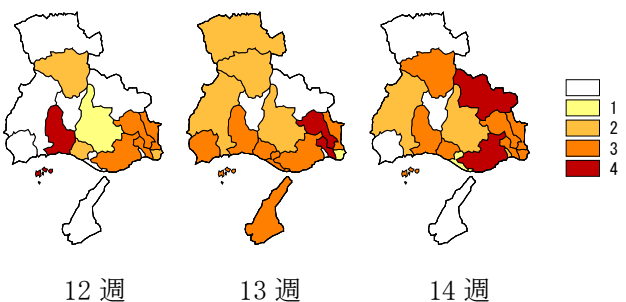
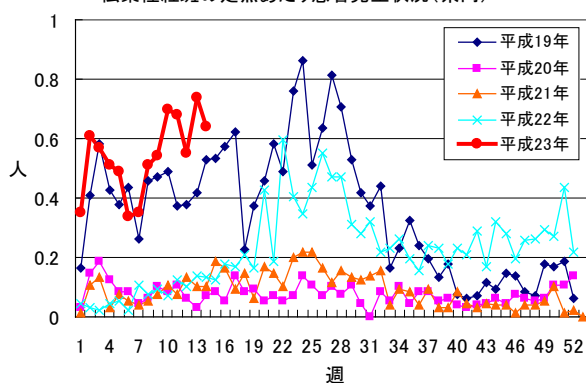


(例年の地域別患者数を基準に流行状況を色分けしています。)

伝染性紅斑

定点あたり患者数は今週 **0.64人**(先週は0.74人)とわずかに減少しましたが、例年のこの時期に比べて患者数がかなり多くなっています。好発年齢は幼児、学童で、症状は比較的軽いことが多いですが、妊婦が感染すると流産・死産などの原因となることがあり、また免疫不全や溶血性患者などでは重症化することがあるので、このような人は流行期には手洗い、人混みを避けるなどの一般的な注意を守ることが重要です。

伝染性紅斑の定点あたり患者発生状況(県内)



(例年の地域別患者数を基準に流行状況を色分けしています。)

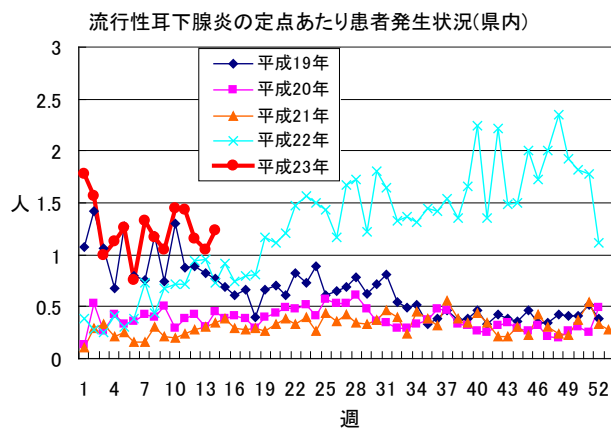
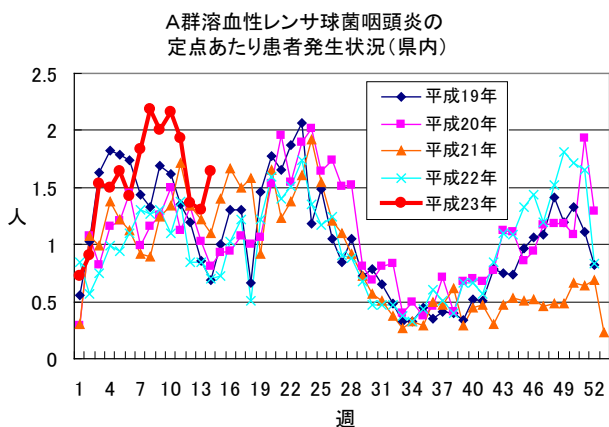
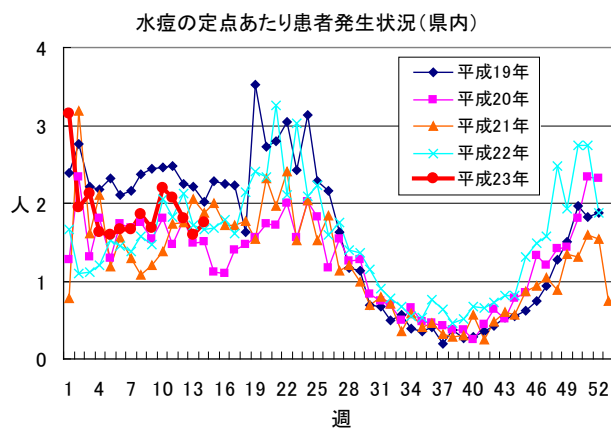
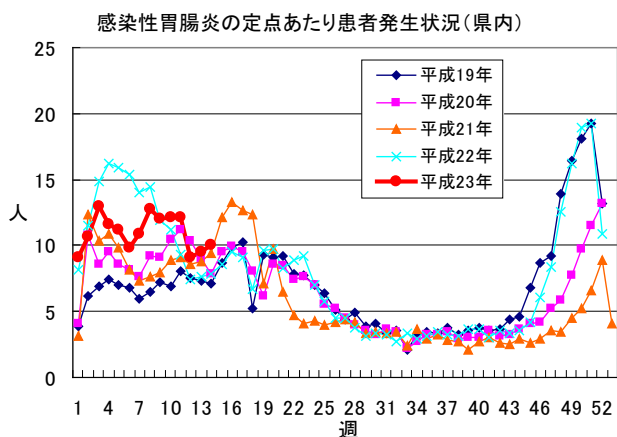
定点あたり患者数の上位10位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	10.06	9.52	+0.54	6位	流行性角結膜炎	0.69	0.49	+0.20
2位	インフルエンザ	5.85	8.18	-2.33	7位	伝染性紅斑	0.64	0.74	-0.10
3位	水痘	1.76	1.60	+0.16	8位	咽頭結膜熱	0.63	0.86	-0.23
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.64	1.30	+0.34	9位	突発性発しん	0.43	0.39	+0.04
5位	流行性耳下腺炎	1.24	1.05	+0.19	10位	RSウイルス感染症	0.22	0.23	-0.01

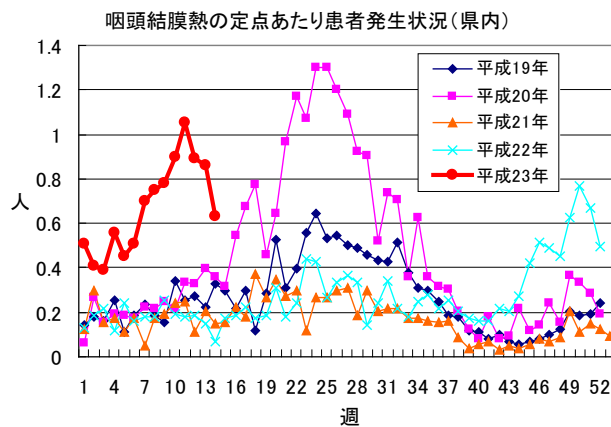
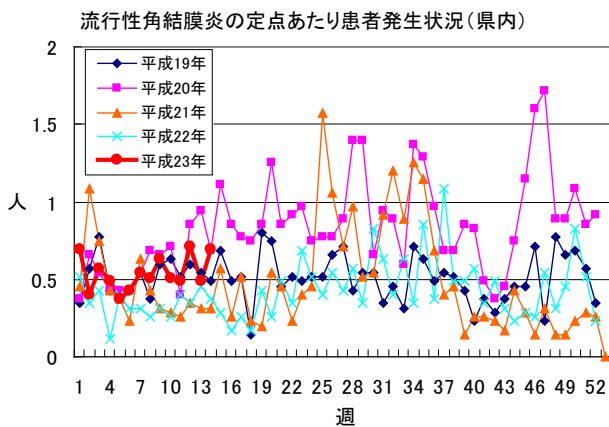
全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 39名 （神戸市16名、姫路市3名、西宮市1名、芦屋保健所管内2名、伊丹保健所管内2名、宝塚保健所管内1名、明石保健所管内4名、加古川保健所管内2名、龍野保健所管内2名、赤穂保健所管内3名、豊岡保健所管内1名、朝来保健所管内2名）
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 1名 （有症者1名） （姫路市；O26 VT1+ 男性10歳代）（累積報告数8名；有症者6名、うちHUS0名）
4類感染症	報告はありません。
5類感染症	後天性免疫不全症候群 1名 （無症候性キャリア）（感染地域；国内）（感染経路；同性間性的接触）、 梅毒 2名 （西宮市；無症候（無症状病原体保有者）女性20歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；異性間性的接触、龍野保健所管内；早期顕症梅毒I期 男性30歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；経口感染）
追加報告	結核 17名 （尼崎市1名、姫路市5名、明石保健所管内3名、加古川保健所管内3名、加東保健所管内1名、赤穂保健所管内1名、朝来保健所管内3名）、 E型肝炎 1名 （神戸市；男性50歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；経口感染）、 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1名 （神戸市；女性20歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；創傷感染）、 後天性免疫不全症候群 1名 （無症候性キャリア）（感染地域；国内）（感染経路；異性間性的接触）、 梅毒 2名 （伊丹保健所管内；無症候（無症状病原体保有者）女性40歳代 感染地域；国外、感染経路；性的接触、宝塚保健所管内；無症候（無症状病原体保有者）女性70歳代 感染地域；国内、感染経路；不明）

目で見る動向（県内）



例年同時期と比較して患者数が多い。



例年同時期と比較して患者数が多い。

この週報は兵庫県立健康科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。
 また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。